

かがやき

題字／旭岡聖順



坂本長利氏。俳優。1929年10月14日、島根県出雲市生まれ。佐野市在住。『Dr. コトー診療所』の村長役をはじめ、『北の国から』『坂の上の雲』『ハーメルン』など多くのドラマや映画に出演。

1967年の初演以来、独演劇『土佐源氏』（宮本常一聞き書きによる）を、出前芝居と称し日本各地をはじめ、海外公演（ポーランド、スウェーデン、ドイツなど他多数）を行う。現在も1170回以上と公演回数を伸ばしている。



平成 27 年度 第4回わいわいギャラリートークショーの様子

佐野市文化会館大ホール舞台上にごぞをひき、独演劇『土佐源氏』山本槌造の住んでいた掘立小屋の雰囲気を出しました。

ゲスト 坂本 長利氏（俳優）

聞き手 松井憲太郎氏（埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ館長
佐野市民文化振興事業団 アドバイザー）

主な記事

- 理事長あいさつ 太田哲夫 1
- 識者コラム 福島恒久 2
- 平成 27 年度事業報告 3
- 平成 28 年度事業計画 4
- 平成 28 年度助成事業 4

- 子ども演劇サマースクール 5
- 平成 29 年度助成事業募集 5
- 美術館、博物館へ行こう 6
- 近隣の公益財団紹介 No.4 6
- これからの事業 (裏表紙)

理事長あいさつ



公益財団法人
佐野市民文化振興事業団

理事長 太田 哲夫

当事業団は平成27年度において主催事業・助成事業ともに計画通りに取り組むことができました。大型事業としては平成27年10月に、佐野市の新庁舎の竣工を記念し、南側のオーブンスペースに佐野市在住の造形作家吉本義人先生の制作によるモニュメントを設置いたし、佐野市に寄託をさせて頂いたことが特筆されます。吉本先生は、モニュメントが市民の皆さまにより、ライブなどのイベントに活用されることを期待しておられます。

この間、市民の皆さまを始め関係者の皆さま、および岡部佐野市長を始め市役所の皆さまのご支援・ご協力に対して心より厚くお礼申し上げます。

一方、活動の原資である債券運用の金利収入が日本銀行のマイナス金利の導入などにより激減していく事態となり、事業活動の見直しを迫られております。本年度は、理事・監事並びに評議員が揃って任期満了を迎え、理事の小野ナツさま、金尾富司さま、および監事の田沼穰さま、評議員の落合一義さまがご

退任されました。

永年に亘る当事業団の運営に対しての、多大なお力添えに対しまして、心より感謝申し上げます。

任期満了に伴う新たな理事・監事並びに評議員は、5月25日に開催された評議員会において選任されました。新たな理事に川久保紀久子さま、小林貴代さま、監事に白澤幸治さま、評議員に岩上日出男さまが就任されました。他の方々は留任であります。これに伴い理事の皆さまより引き続き私が理事長に、落合正さまが専務理事に選ばれました。また、評議員会会長に旭岡靖人さまが留任されました。



平成27年11月10日 モニュメント除幕式

貸借対照表

平成28年3月31日現在 (単位: 円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	3,300,380
2. 固定資産	
(1) 基本財産	503,499,784
(2) 特定資産	421,502,655
(3) その他固定資産	19,119,361
固定資産合計	944,121,800
資産合計	947,422,180
II 負債の部	
1. 流動負債	0
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	899,471,970
(うち基本財産への充当額)	503,499,784
(うち特定資産への充当額)	395,972,186
2. 一般正味財産	47,950,210
(うち基本財産への充当額)	0
(うち特定資産への充当額)	25,503,469
正味財産合計	947,422,180
負債及び正味財産合計	947,422,180

事業報告については、3・4ページに記載

資金運用環境に誠に厳しいものがありますが、地域文化向上の一端を担うべく、効果的に文化事業をご提供できますよう、組織を上げて取り組む所存であります。

事業選考委員会は5月10日の理事会において、新任の土澤正道産業文化部長を含め6名の方が選任されております。それぞれの構成員は当団報に記載されておりますのでご覧ください。

それでは本年度も市民の皆さまには、当事業団の文化事業に大勢ご参加・ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

散歩雑感

画家

福島 恒久



見るもの聞くもの、五感で感じる全てが自分の作るものに関連させて考える癖がついている。

世の中の1日、朝から晩までの人の営み、人々の流れ、自然界の変化、それらが連なってきた歴史。

その余りの膨大さに私の頭は勿論全くついていけないが、まあボチボチと入力しては絵筆により出力する日々である。

そういった毎日の中で、散歩というかフィールドワークは欠かせないもので、殊に自然の豊かな場所は混乱した頭の中を整理するには全く都合が良い。

地面を踏む音、花や木々の香り、小鳥の囀り、敬愛すべき先人も感じていたであろう感覚を今も味わえる喜び。

散歩中ふと兎戯めいてピョンと水溜りや小川を跳び越えたりするのは体験的に一層無邪気に楽しいものだが、どこか作品がスラスラ

完成する時と良く似ている。

跳ぶという事、そして越えるという事を造作もなく出来るのは大変愉快で、水面に踊る景色もまた美しい、それが仮に不気味であったとしても。

しかしどう跳ぶか、どう越えたものか。

水溜りより更に大きな規模、例えば大河の向こう岸までとなると、なかなかどうして気安さは無い。

そうなれば勿論水面に映し出される情報もより捉え辛くなるだろう。そして現実世界だけが水鏡に反射しているとは限らない。亘る者の心の反映がそこに在れば把握はより困難になるのは自明の事である。

どんな存在でも瞬間瞬間意識的無意識的関わらず決断の連続であり、更にその決断によつて立ち現れた行為は、良い悪いは別として畢竟誰かへの架け橋になり得る。

加えて生命の最後の彼の岸へ向かうことは避け難い、しかしアンテナを全開にしてこの世界を感じながら只々嬉々として水溜りを跳び越え河を亘るように、一つの手段として作品を作り続けられる喜びを感じる故に、私は厳しくも愛しい瞬間瞬間を決断出来る。

その決断から出力されたものが、もし少しでも世界の美しさに寄与出来るのだとしたらこれほど嬉しいことはない。

そう願いつつ、散歩から戻れた私はまた絵筆を取っている。

【略歴】 福島 恒久（ふくしま つねひさ） 佐野市にアトリエを構える

1978年	埼玉県さいたま市（旧大宮市）生まれ
1998年	東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻入学
2000年	栃木県佐野市葛生にて石灰組合 90 周年フレスコ壁画プロジェクトに参加
2002年	東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
同年	東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻日本画第三研究室入学 敦煌莫高窟壁画模写及び現地研修最終年に参加
2004年	東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻日本画第三研究室修了
2004年	大学院修了制作 帝京大学買い上げ 敦煌莫高窟修了模写 台東区買い上げ
2006年	佐野市葛生伝承館壁画制作開始（現在制作中、2020 年頃完成見込）
2010年	栃木県石灰組合 100 周年特別表彰
2011年	日本プラスター（株）エントランス フレスコ壁画「大樹朝陽図」日本漆喰教会作品賞受賞
同年	佐野市立吉澤記念美術館内において二人展「第一回 天目塾展」開催
2014年	栃木市新庁舎フレスコ壁画「古今扇舞秋祭図」作成
2016年	栃木メディカルセンターしもつが フレスコ壁画「桜梅桃李図」作成



佐野市葛生伝承館
フレスコ画 部分

日本画水墨作品

平成27年度事業報告

**当事業団は主催・助成事業並びに事業の後援を約30件行いました
これらの事業に参加並びに鑑賞等された方は、のべ約1万2千人でした**

自主事業（主催事業）

❖演劇鑑賞教室事業

内 容 歌舞伎『壺坂霊験記』の鑑賞
期 日 平成27年6月15日(月)
場 所 国立劇場(東京都)
参加者 80人
参加者負担金 5,000円

❖企画展共同開催事業

❖美術鑑賞ツアー

内 容 市内の美術館等をまわるバスツアー
期 日 平成27年11月11日(水)
場 所 第8回佐野ルネッサンス鍍金展
安藤勇寿「少年の日」美術館
佐野東石美術館
佐野市立吉澤記念美術館
参加者 37人



❖モニュメント除幕式

内 容 佐野市在住の彫刻家・吉本義人氏による
モニュメント設置を記念した除幕式
期 日 平成27年11月10日(火)
場 所 佐野市役所新庁舎市民広場
参加者 80人

❖芸術・文化に関する人材育成事業

❖子ども演劇サマースクール

期 日 平成27年7月21日(火)～25日(土)
場 所 葛生あくとプラザ
講 師 加納朋之(文学座)ら俳優7名
参加者 45人

子ども
演劇サマースクール

・平成27年度佐野市学校演劇祭へ
審査員を派遣

期 日 平成27年9月4日(金)
場 所 葛生あくとプラザ



❖舞台裏方講座

期 日 平成28年2月13日(土)
場 所 佐野市文化会館
講 師 龍福孝明(宇都宮舞台
サービス)
参加者 17人

舞台裏方講座

❖アートマネジメント講座

期 日 平成28年3月12日(土)・13日(日)
講 師 松井憲太郎(富士見市民文化会館長)

・関連事業

第3回わいわいギャラリー

期 日 平成27年8月1日(土)
場 所 葛生地区公民館
ゲスト 福島恒久(画家、葛生伝承館フレスコ画描画)
聞き手 川田悦子(文化サロンさの。サプリーダー)
参加者 33人

第4回わいわいギャラリー

期 日 平成28年2月27日(土)
場 所 佐野市文化会館大ホール
ゲスト 坂本長利(俳優、佐野市在住)
聞き手 松井憲太郎(富士見市民文化会館長)
参加者 132人



第3回わいわいギャラリー

助成事業

❖芸術・文化活動助成事業

❖木よう会10年のあゆみ展

期 日 平成27年
4月3日(金)～5日(日)
場 所 佐野市文化会館展示室A
主 催 木よう会(野尻教室)



木よう会10年のあゆみ展

❖小案神社 秋の例祭

期 日 平成27年10月18日(日)
場 所 小案神社
主 宰 奈良瀬町小案神社神楽保存会



小案神社 秋の例祭

❖スタディーツアー

(関東ブロックユネスコ活動研究会関連事業)

期 日 平成27年10月25日(日)
場 所 唐沢山城跡、田中正造旧宅、
郷土博物館、若林鍛造所ほか
主 催 佐野ユネスコ協会

共通事業

❖事業団報『かがやき』第21号の発行
市内全戸配布(46,000部)



後援事業

平成27年度は、13事業を後援しました	開催日	主催者名	参加者
第1回「天命釜頭彰茶会」	H27 5/10	天命鑄物伝承保存会	370
R293 美術展 2015	5/14～28	佐野市文化会館	673
佐野市民合唱団“Voice” 第18回定期演奏会	8/30	佐野市民合唱団“Voice”	500
第107回 日本水彩画会 安足支部展	9/ 4～ 6	(公社) 日本水彩画会安足支部	700
UNESCO 創設70周年記念2015年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in 栃木	10/24	佐野ユネスコ協会	450
第8回佐野ルネッサンス鑄金展	10/31～11/15	佐野ルネッサンス鑄金展実行委員会	3,861
SANKYOKU【三曲】コンサート	11/15	佐野市文化会館	1,216
第7回さのクラシックコンサート 新井啓泰ピアノコンサート	11/22	佐野市文化会館	973
さの演劇塾第6回公演「劇団中村座商店街物語」	11/28・29	さの演劇塾	542
Happy Hunting Ground 演劇公演「限界の向こう側」	12/20	佐野市文化会館	202
第23回 佐野第九演奏会	12/23	佐野市民合唱団“Voice”	790
第108回 日本水彩画会 安足支部展	H28 1/20～24	(公社) 日本水彩画会安足支部	1,021
津軽三味線コンサート「神様からの贈りもの～ミラクル・キッズたち～」	1/30	佐野市文化会館	318

※平成28年5月10日、25日に開催された、平成28年度第1回通常理事会及び平成28年度定時評議員会において、平成27年度の事業報告及び収支決算(1ページに掲載)等が承認されました。

平成28年度事業計画

「すべての市民が優れた文化環境のもとで、潤いと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目的に、佐野市民の芸術・文化活動の振興を図るため、次の事業を行います。

自主事業(主催事業)

❖演劇鑑賞教室事業

- ❖歌舞伎鑑賞教室 **開催終了!**
国立劇場「7月歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞

❖芸術・文化に関する人材育成事業

- ❖子ども演劇サマースクール
7/21～23の3日間開催 **開催終了!**
❖アートマネジメント講座
及び「わいわいギャラリー」
⇒詳細は裏表紙へ

- ❖舞台裏方講座
⇒詳細は裏表紙へ

❖企画展共同開催事業

- ❖美術鑑賞ツアー
⇒詳細は裏表紙へ

共通事業

- ❖事業団報『かがやき』の発行 平成28年9月1日発行、市内全戸配布
❖広報誌・インターネットの活用
事業のPRのために、市の広報誌や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信します。
URL: <http://kagayaki.sanocity.jp/>

助成事業 今年度は3団体へ、合計40万円の助成事業を展開しています

佐野少年少女合唱団♪dolce♪
第1回定期演奏会

と き: 7月17日(日)
ところ: 佐野市文化会館小ホール



R293美術展2016

と き: 5月21日(土)～6月5日(日)
ところ: 佐野市文化会館 展示室AB他

天命鑄物伝承保存会
天命鑄物の後継者育成事業

と き: 9月3日(土)・10日(土)
25日(日) 全3日間開催



後援事業

平成28年度の事業の後援(7月31日時点)	開催日	主催者名	お問合せ
佐野市民合唱団“Voice” 第19回定期演奏会	平成28年 9月11日(日)	佐野市民合唱団“Voice”	22-0273
第2回天命釜頭彰茶会	10月 2日(日)	天命鑄物伝承保存会	22-6623
第8回さのクラシックコンサート 佐野朋子&石塚俊子チェロコンサート ～チェロの世界へようこそ～	10月16日(日)	佐野市文化会館	24-7211
H.H.G 演劇公演「異人たちの夏」	平成29年 2月11日(土祝)	佐野市文化会館	24-7211

芸術・文化に関する人材育成事業

子ども演劇サマースクール



“出せじゃんけん” ゲーム

表現の練習になります!!



当財団では、公益財団法人移行後、子どもを対象とした演劇ワークショップを毎年開催しております。

今年は、7月21日(木)～7月23日(土)の3日間、文学座のプロの俳優である加納朋之さんら7人を講師に迎えて、子ども演劇サマースクールを開催しました。小学4年生から中学3年生の38人が参加。ゲームや体操を通して発声や表現を学び、最終日には、3日間の集大成として『干支のおはなし』の劇を発表しました。

当財団では、今後も子どもたちの文化環境を耕すことに重点を置いた事業を展開して参ります。

参加した子どもの感想

今回初めてサマースクールに参加してとても楽しかったです。ゲームなども楽しかったし友達がたくさんできました。ありがとうございました。

あと、文学座の方がとてもいいに教えてくださったのでとても分かりやすかったです。

また来年も参加したいと思います。

演劇『干支のおはなし』披露!



リハーサルのようなようす



本番で熟演する子どもたち

事業団

シンボルマーク



SANOの頭文字「S」と無限マーク「∞」をモチーフに市民 Citizenの「C」と文化 Cultureの「C」を組み合わせました。大きな「S」の躍動と連続で「芸術文化の振興」全体で「市民参加と活力」をイメージしています。色はブルーで調和と大局を表します。



参加者の集合写真

平成29年度 助成事業募集

当事業団では、芸術・文化活動や伝統文化の保存継承を支援しています。

地域の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業で将来性のあるものなどで、何十周年記念という規模の大きなものも対象となります。

但し、企業や学校のサークル・部活動は対象外です。また、行政等からの補助を受けているものについては、その補助額を除いた額の一部を助成対象とします。

その他の要件はお問合せ下さい。

◆申込期限

平成28年11月25日(金)

◆申込・問合せ先

事業団 佐野市民文化振興課
事務局 佐野市役所本庁舎3階
(佐野市役所本庁舎3階)

☎ 2013044



芸術の秋

美術館、博物館へ行こう!

「神楽の面と衣裳展」

7月18日(月)～9月22日(木)

佐野市葛生伝承館

栃木県佐野市葛生東 1-11-26 TEL 0283-84-3311
<http://www.city.sano.lg.jp/densyoukan/>



第64回企画展

宮島文庫からたどる 田中正造

10月1日(土)～
11月27日(日)

佐野市郷土博物館

栃木県佐野市大橋町 2047 TEL 0283-22-5111
<http://www.city.sano.lg.jp/city-museum/index.htm>



佐野東石美術館収蔵木彫名品展

－円空と 近現代の木彫－

9月16日(金)～12月21日(水)

佐野東石美術館

栃木県佐野市本町 2892 TEL 0283-23-8111
<http://www.toseki.com/museum/museum.htm>



特別企画展

東と西の蕪村

10月29日(土)～12月11日(日)



与謝蕪村《漁父図》個人蔵



伊藤若冲《菜蟲譜》吉澤記念美術館蔵

伊藤若冲《菜蟲譜》限定公開 10月29日(土)～11月20日(日)

佐野市立吉澤記念美術館

栃木県佐野市葛生東 1-14-30 TEL 0283-86-2008
<http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

近隣の公益財団紹介

第4回目となる今回は、「かめま文化・スポーツ振興財団」をご紹介します。

鑑賞事業の他、第九やボビュラー曲を歌う「市民歌の集い」、中学生から一般まで市内アマチュアオーケを一堂に会した「オーケストラフェスティバル in 鹿沼」など、市民との協働による事業にも力を入れています。

【管理施設】

鹿沼市民文化センター、鹿沼総合体育館、鹿沼運動公園、御殿山公園、台の原公園、自然の森総合公園、児子沼公園テニスコート、千手山公園市民プール、鹿沼市体育館、北

公益財団法人 かめま文化・スポーツ振興財団

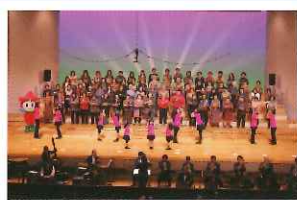
当財団は、鹿沼市の設置する文化・スポーツ施設の管理運営を能率的かつ合理的に行うとともに、文化スポーツの向上のための各種事業を実施することを目的として昭和57年に設立されました。

現在鹿沼市民文化センターの他、鹿沼総合体育館（フオレストアリーナ）をはじめ市内体育施設の維持管理を行うとともに、各種の文化・スポーツの振興に寄与しています。設立時から「財団法人鹿沼市体育文化振興公社」の名称で運営してまいりましたが、平成24年4月1日から公益財団法人かめま文化・スポーツ振興財団」として新たに再スタートしました。

【事業】

ホール事業（音楽、演劇、映画等の各種芸術文化事業）、教室事業、鹿沼市からの受託事業、科学館事業（プラネタリウム投映、各種天体観望会、実験教室等、友の会事業）。

オーケストラフェスティバル in 鹿沼



市民歌の集い

所在地 鹿沼市坂田山2-1-170
電話 028916515581



☆アーティストと気軽に話をしてみませんか？



聞き手
松井憲太郎氏

★文化サロンさの。とは？

(公財)佐野市民文化振興事業団が開催した「アートマネジメント講座」受講生たちが企画・運営する実践事業。講座を通して、「佐野市にずっと暮らし続けたい」と感じられる街づくりをしよう、未来に向かって子どもたちの文化環境を耕すことから始めよう、のコンセプトでスタートしています。賛同していただける市民のみなさんの協力を求めています。



詳細は後日「広報さの」にて、お知らせします。

行程

旭岡靖人	島田嘉宏	理事・顧問	顧問長	理事	川久保紀子	小林貴代	監事	事業選考委員	アドバイザー	評論員	評論員	学識経験者	市産業文化部長
岩上日出男	渡片柳昭代	岡部正英	落合哲夫	菊池宏正	佐野正行	白澤幸治	松井憲太郎	旭岡靖人	國片展代人	岩船展也	土澤哲道		

評議員・役員一覽（順不同）

※複数枚での応募は「落選」となりますので、ご注意ください。

事業ごとに応募してね。